仙北組合総合病院 だより

発行月日　平成25年12月20日
発行責任者　後　藤　伸　一
No.17

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。

ご　挨　拶

仙北組合総合病院
内科科長　佐々木　重　喜

めっきり寒くなって参りました。諺にも「冬来たりなば春遠からじ」と申しますが、春には新病院開院という大イベントを控えております当院、見方を変えれば現在の建物で仕事ができるのも残り僅かとなってきた今日この頃だとも言えます。皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、この建物の其処此処を目に焼き付けておこう、なんてことを思いながら正面玄関ホールを入って参りますと、向かって左手にある「仙北組合総合病院では感染対策に取り組んでおります」という目にも鮮やかな貼り紙が注意を惹きつけます。昨今は頓に感染対策の重要性が叫ばれ、感染対策を実施していることに対して院外から評価が下される時代。そんな中、当院は自ら感染対策に取り組んでいることを声高に謳っています。なぜ、感染対策が重要なのでしょうか。

かつて、人類は感染症を克服したと誤解されていた時代があります。それが実際はどうでしょう。現実には人類が克服できた感染症は極々僅かなもので、新型インフルエンザは出現する、風疹の大流行は起こる、結核も撲滅できない、といった具合。病院内でインフルエンザやノロウイルス胃腸炎が流行したというニュースもマスコミを賑わせ、感染症が正しく「今ここにある危機」であることをこれでもかと思い知らされます。

こうした中、病院に入院が必要な患者さんは、何らかの理由で体力の落ちている人が殆どです。そのような方々は、日々感染のリスクに曝されていると言っても過言ではありません。患者さんに病原体を伝播する――という、安全でもなければ質の高くもない医療を提供するようなことがあってはならないのです。当院は職務を全うするプロフェッショナル集団として医療を提供しており、その基本となる感染対策に、すべての職員が取り組んでいる、という次第です。

しかしながら、感染対策は医療従事者だけが行っていればいいというものではありません。病原体には、健康な人にも感染するものが多数あります。ですから、感染対策は日常生活を送るわたしたち、ひとりひとりが実践しなければならないことなのです。そのポイントは、病原体の拡散を防ぐこと――自分の手や指に付着しているかも知れない病原体を、他人に渡さないことに尽きます。つまり、手指衛生が基本であり、かつ最も重要なことなのです。

院内の其処彼処にはアルコール性手指消毒剤が配置されています。時はまさに冬。インフルエンザやノロウイルス胃腸炎がその猛威を振う季節となりました。是非ともしつこいくらいの手指衛生で、院内では勿論、御家庭でも病原体の拡散を防いでいただきたいものと思っております。

なお、当院は全職員を挙げて感染対策に勤しんでいると公言しております関係上、万が一にもそうでない職員をお見かけの際には、是非ともご指導ご鞭撻いただきたく、これは衷心より宜しくお願い申し上げます。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
仙北組合総合病院
秋田県大仙市大曲通町1番30号
TEL 0187－63－2111
FAX 0187－63－5406
ホームページ
URL http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp

れんけい室タイムズ「Face to Face」Vol 11

1 室長あいさつ

『第10回 れんけいのつどい』

佐々木　順　孝

今年もあとわずかと迫りました。地域医療連携室のこの１年を特に大きな事件・事故もなく過ごせたことを嬉しく思われる今日この頃です。

小野地院長　挨拶

さて、去る11月20日に恒例でもありました「れんけいのつどい」がグランドパレス川端で開催されました。冒頭の小野地院長のあいさつでは、病院新築の進捗状況や、病院名が変更になること（新病院は大曲厚生医療センターになります）などについてお話がありました。また病床数が減少することもあり、よりいっそうの病診連携が必要との認識を示されました。

梅原整形外科診療部長
講演

今年は10回目の開催となり、その節目の講演には、当院整形外科の梅原診療部長に「当院の人工膝関節置換術―この15年」というタイトルでお願いいただきました。先生の15年を超える当院における膝関節の手術・治療経験についての成績や、とりわけ術前後の自転車乗車に対する関節可動域の検討など、当地域の生活事情に即した内容で、とても興味深いものでした。質疑応答では、池田芳信医師会長から「もっと積極的に医師会の講演会などに参加してほしい」と要請がありました。

大仙・仙北医師会
会長　池田芳信先生

院内脳外科医師

また今年から始まった地域連携システムの運用状況について、小野地院長から説明があり、まだまだ試行錯誤の状態であり、いずれ意見交換会のようなものが必要であると述べられました。

院内整形外科医師全員集合

メインのイベントである懇親会ではこれまでと違った趣向が小野地院長から提案され、当院の各診療科が登壇して自己紹介する企画で大いに盛り上がりました。顔の見える連携を理想としている当院の病診連携を地で行くアイディアと思われ、今後恒例化するのではと期待されます。

医局長秋山緩和ケア科科長

五十嵐副院長

とにもかくにも、院内、院外のみなさんあっての地域医療連携室ですので、今後も変わりなきご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

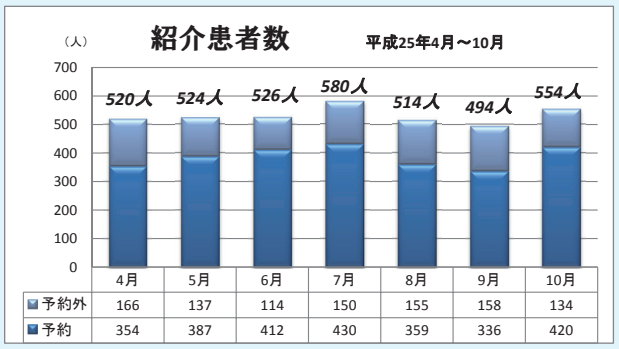
懇親会風景

2 実績報告

4月～10月までの、紹介患者総数は3,711人で内訳は予約患者総数は2,698人、予約なしの患者数は1,014人でした。連携室では医療機関（病院・医院・診療所など）からの予約受付対応を行っております。

予約方法はFAXでの申込みですが、緊急を要する時などは直接電話で情報をいただく事もあります。

患者様がスムーズに外来受診できるように日々努力していきたいと思います。

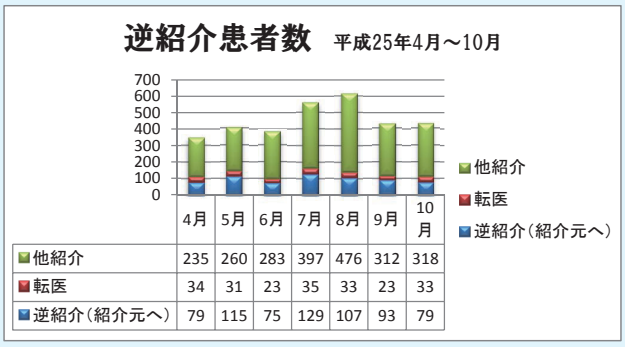


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
予約外	166	137	114	150	155	158	134
予約	354	387	412	430	359	336	420

紹介患者総数	524	526	580	514	494	554

逆紹介とは
①紹介を受けた患者様を紹介元にお返しすること（逆紹介）
②紹介を受けた患者様を紹介元以外へ紹介すること（転医）
③自院受診歴のみの患者様を他院へ紹介すること（他紹介）
を合わせて逆紹介と言います。

今後も地域の医療機関が、それぞれの機能を分担し相互の円滑な連携を図り、患者様の症状にあった継続性のある医療を提供していくことを目指していきたいと思います。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
他紹介	235	260	283	397	476	312	318
転医	34	31	23	35	33	23	33
逆紹介（紹介元へ）	79	115	75	129	107	93	79

3 トピックス

整形外科診療部長
梅　原　寿太郎

『当院の人工膝関節置換術 ～この15年～』

変形性膝関節症や関節リウマチに対して行われる人工膝関節手術についてのお話です。この15年における当院での人工膝関節手術件数は628件でした。件数は徐々に増えつづけ、現在ほぼ毎週1～2件行われています（図1）。2004年に導入した部分置換術は比較的変形が軽い人に行われ、傷が小さくて手術後の膝の曲がりもよいので正座できる人もいます（図2）。

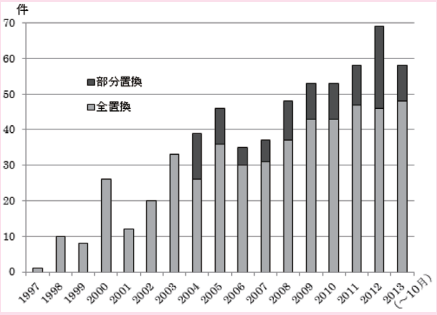


図1　人工膝関節手術件数（1997.9～2013.10）

この手術は60～70歳代の方に最も多く行われますが、最近は50歳代や80歳を超えた方にも行われる機会が多くなってきています。これは人工関節の耐用年数が延びて比較的若い人にも行うようになってきたことと、平均寿命が男女とも延び、80歳代でも膝が痛いこと以外には元気な方が多くなっているためです。また、リウマチの薬物治療が非常によくなってきているため、リウマチに対する人工関節手術は年々減っています。また当院では、この地域に自転車に乗っている高齢者が多いことに注目し、術後にどれくらい自転車に乗れているかについて調査を重ねてきました。リハビリや手術手技の工夫により10年前に比べて全置換術後でも自転車を常用できている方が多くなっています。

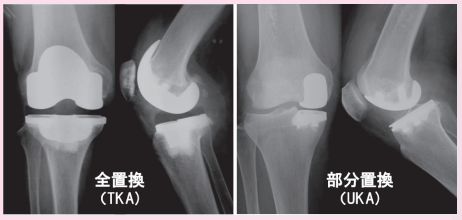


図2　全置換術と部分置換術

アメリカの学会での調査によればこの手術により患者さんの生活と社会経済（療養費の削減など）にもたらす効果がその費用に見合う以上のものであることが報告され、今後も増えつづける手術と考えられます。

かかりつけ医（ホームドクター）を持ちましょう!

あなたやご家族の健康管理について、何でも相談できるかかりつけ医（ホームドクター）がいると安心です。専門的な検査、治療が必要な時には適切な病院・診療科を紹介してくれます。

【地域医療連携室へのお問い合わせ】

ＴＥＬ：**0187－63－2111**（内線2104）
ＦＡＸ：**0187－63－0004**（専用ＦＡＸ）
平　日：**8：30～16：30**

ためになる話

嚥下障害の予防

一般に嚥下障害は、高齢者に多い病気だと思われがちです。しかし、50歳前後からは飲み込む能力が少しずつ弱くなるため、中高年の人ならだれにでも起こりえます。嚥下障害は、次のようなトレーニングをすることで予防や改善ができるので、生活の中に取り入れてみましょう。食事の前に行うと、より効果的です。

1. 呼吸のトレーニング

腹式呼吸によって深い呼吸を心がけます。呼吸機能を高めることで、気管に食べ物が入った場合でも排出しやすくなります。腹式呼吸は、まずゆっくり息を吐き出し、最後はお腹をへこませるまで息を出し切ります。そしてゆっくりお腹まで息を入れる感じで吸っていきます。これを繰り返します。

食べ物がのどに詰まったり、むせたりするのは、食べ始めの時にもっとも起こりやすいので、食事の前に腹式呼吸をしてから落ち着いて食べるようにしましょう。

2. 発音のトレーニング

パ行（パ、ピ、プ、ペ、ポ）、ラ行、タ行、カ行、マ行を繰り返し発音します。これらの音を発する時には、食べ物を飲み込む時と同じ器官（口、舌、のどなど）を使うので、器官を鍛えることができます。

3. 首や口・舌のトレーニング

首や口・舌の周辺の緊張をとり、リラックスさせることで、飲み込む時の筋肉運動をスムーズにすることができます。

首のトレーニングは、肩の力を抜いて、首をゆっくり前後・左右に動かし、首筋をしっかり伸ばすようにします。口のトレーニングは、ほおをふくらませたり、へこませたりを繰り返します。舌の場合は、思い切り前に出したり、引っ込めたりします。

これらのトレーニングは、食べ物を口に入れずにできるので、自分で安全に行うことができます。回数などは自分の体力などに応じて、無理のない程度にし、毎日続けるようにしましょう。

診療案内　外来診察医一覧

《土・日曜日と祝祭日は全科休診です》
◎は新患担当。
平成25年12月20日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間
内科2診	◎山口	佐々木	秋田大学 PM・進藤（呼吸器）	◎山口	◎阿部	8:30～11:30
内科3診	◎仁村	◎茂木	◎仁村	◎茂木	◎仁村	
内科4診（専門外来）	腎外来 富樫	糖尿病外来 高嶋	―	腎外来 小松田	糖尿病外来 大友	糖尿病外来8:30～11:30 腎外来8:30～11:30
循環器科1診	池田	高橋	加藤	池田	高橋	8:30～11:30
循環器科2診	加藤	加藤	秋田大学	佐々木	加藤	
循環器科3診	―	呼吸器内科（秋田大学）12:30から	心臓血管外科 第1・第3・第5	―	呼吸器内科（秋田大学）11:30まで	心臓血管外科 8:30～11:30
消化器科1診	◎五十嵐	◎五十嵐	◎五十嵐	◎沖口	◎五十嵐	予約制 8:30～11:30
消化器科2診	小泉	塩田	小泉	塩田	中島	
神経内科	―	―	―	―	菅原 13:00から	予約制 12:00～16:00
小児科1診	小山	五十嵐	五十嵐	矢野	五十嵐	8:30～11:30
小児科2診	大村・深谷	小山	小山 ☆心臓外来（秋田大学）	深谷・大村	大村	☆第1・第3水曜日 13:30～
外科	小野	大村	平賀	山村	高野	8:30～11:30
呼吸器外科1診	中川	―	中川	―	中川	月曜8:30～10:30 水・金曜8:30～11:00 ※2診は病棟業務終了次第後診察
呼吸器外科2診	―	―	―	―	―	
泌尿器科1診	熊澤	神崎	熊澤	熊澤	神崎・灘岡（各週交互の診療）	8:30～11:00
泌尿器科2診	灘岡	灘岡	神崎	五十嵐	五十嵐	
産婦人科（婦科）	山本	今野	山本	山本	今野	8:30～11:00
産婦人科（産科）	今野	山本	今野	今野	山本	
耳鼻咽喉科1診	垂石	垂石	垂石	垂石	辻	8:30～11:00
耳鼻咽喉科2診	横溝	横溝	横溝	―	横溝	
整形外科1診	梅原	佐藤	梅原	高橋	梅原	8:30～11:00
整形外科2診	後藤	高橋	後藤	後藤	佐藤	
整形外科3診	日下	板谷	佐藤	板谷	日下	
皮膚科	―	秋田大学	秋田大学	―	秋田大学	火・水・金曜 完全予約制
	新規の患者様は、他医院又は院内他科より紹介された方。再来の患者様は、完全予約制とさせて頂きます。					
脳神経外科	佐々木	佐々木	佐々木	大前	佐々木	8:30～11:30
眼科	火・木のみ					
緩和ケア科	秋山（痛みの治療）	秋山（緩和ケア）	―	―	秋山（痛みの治療）	月・金曜 8:30～11:00 火:完全予約制 11:00、13:00
放射線科	黒川	黒川	黒川	黒川	黒川	
歯科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木 口腔外科	鈴木	8:30～11:30 予約制
	新規患者様の受付は11時までとさせて頂きます。					

※手術等により担当医師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。